

一口にいぼといつてもたくさん種類があります。皮膚の老化で顔や首、体などにできるのが、老人性のいぼです。良性の腫瘍で、液体窒素を当てる冷凍療法や、麻酔をして炭酸ガスレーザーや電気で焼き取ればほとんどは治ります。

このほか、他の場所に移るウイルス性のいぼがあります。これは表情が豊かです。指や足の裏、顔などにでき、どんどん増えて大きくなる硬くてカサカサしたタイプもあれば、顔や手の甲にでき、平らなタイプもあります。

子どもに多いのは、つるつとしてドーム状の通称「水いぼ」です。ウイルス

皮膚の病気あれこれ

岩崎泰政

5

いぼ



イラスト・霜野美香

治療法は多彩 根気よく

イブです。何度治療しても再発を繰り返し、長く通院してもなかなか治りません。とくに足の裏のいぼは、体重が加わり皮膚の深くまで入り込むので、歩くと痛みを感じます。「うおのめ」や「たこ」と間違えられることもあります。

基本的な治療方法は老人性のいぼと同じですが、数日痛みが残ります。薬品でいぼを剥離させ剥ぎ取ったり、ヨクイニンというハトムギエキスの薬を飲んだり、薬品によってかぶれさせたりする治療を併せて行うこともあります。

福山市

(岩崎皮膚科・形成外科)

性の水いぼは、医療用のピンセットでいぼの中身のウイルスの塊をつまんで取り出せば治ります。

さまざまないぼのうち、皮膚科医にとって最大の難敵で悩みの種は、ウイルス性の硬くてカサカサしたタ

これだけ治療に抵抗する

いぼがまれに、免疫力によ

って、ある日突然ポロッと

取れることがあります。た

だし、自分の免疫力を期待

して治療しないでみると、

多くの人はいぼだらけにな

ってしまいます。根気よく

治療することが大切です。

全国至る所に「いぼとり

地蔵」や「いぼ神様」があ

るのを存じでしょうか。

昔の人もいぼの治療に大変

困り、最後は神頼みだった

ことが想像できます。現代

は、多彩な治療が受けられ

るので、いぼを見つけたら